

2019年度事業計画

私たちを取り巻く地域の社会環境は、少子化による人口減少、超高齢化、一人暮らし世帯の増加等による地域社会の活力低下が懸念されております。さらには近年、台風や大雨による、風水害などに対する防災や、金沢市庁舎で発生した刃物による刺傷事件、他都市での交番襲撃事件等、公共施設の防犯への対応も重要な課題となっております。

こうした現状を踏まえつつ、地域住民が生涯にわたって自ら学び、自らの能力を開発し、生きがいを持てる地域の暮らしやコミュニティを築くことがまさに喫緊の課題であり、地域、学校、家庭さらには企業や自治体等との連携のもと、地域や家庭の教育力を向上させることが極めて大切なことであります。

幸いにして、わが金沢市においては、先人達はその知恵を結集して築き上げてこられた「金沢方式」があります。もちろん、時代の変遷と共に不断の見直しが必要であり、昨年度、公民館連合会において3つのワーキングチームを設置し、金沢方式の再確認、公民館職員の働き方改革、防災、防犯への対応、さらには民法改正に伴う成人式の在り方など、公民館を取り巻く諸問題の解決に向けて、鋭意議論を重ねているところであります。

私たち金沢市の公民館に携わる者は、改めて公民館の基本的な役割を見直し、地域社会の課題を的確に捉え、これまで営々と築いてきた「人づくり、地域づくり」の成果を活かし、教育機関はもとより地域が一体となって課題解決に取り組んで行かねばなりません。

そのため、すべての公民館関係者が相携えて下記のことに取り組んで行くことを誓い合うものであります。

記

1. 地区公民館相互の連携強化を図る。
2. (継)公民館を取り巻く社会環境の変化に対応するための協議を行うため設置した、「公民館関連諸問題検討ワーキングチーム」の開催を続行し、「金沢方式」をはじめ、(新)市公連70周年記念事業等、諸課題に取り組む。
3. (新)視聴覚教材作品の整理、アーカイブとしての活用方法を検討する。
4. ホームページの充実に努めるとともに、セキュリティの強化を図る。
5. 安全・安心のまちづくりの観点からも、常に防災意識を持ち、避難所の開設の訓練などを通して防災の実践を図る。
6. 各種団体との連携を深める。
7. 地域コミュニティの活性化を中心に、役職員等の研修の充実と資質の向上を図る。
8. 都市間交流の推進に努める。

2019年度 月別事業計画について

月	日	事業名
4	10	会計監査
	11	第1回理事会
	18	(市)館長会議、市公連総会
5	中旬	新任館長研修会
	16	県公連定例理事会・総会(県青少年研修センター)
	31	県公連市町公民館長研修会(地場産業振興センター)
6	6,7	石川県「市町生涯学習担当者基礎研修」(県本多の森庁舎)
	下旬	町会連合会、校下婦人会との懇談会
	27,28	館長県外研修(高松市訪問)
7	13,14	(芭蕉サミット)
	上旬	公職連との懇談会
8	下旬	市町公民館事務担当者会議(地場産業振興センター)
9		
10	10	第71回石川県公民館大会(白山市)
	17,18	第55回東海北陸公民館大会(愛知県刈谷市)
	27	(第5回金沢マラソン)
11	中旬	館長、主事合同研修会
12		
2020		
1	中旬	(市)新年館長懇談会
2	上旬	第16回高岡市公民館フェスタ
	16	第57回金沢市公民館大会・公民館フェア「楽集」
3		

■理事会の開催(予定)

4月11日、6月上旬、7月中旬、9月下旬、11月下旬、1月中旬、3月中旬
(但し、必要に応じて開催する。)

■専門委員会の開催

- ・(継続)「公民館関連諸問題検討ワーキングチーム」の開催

■その他

- ・視聴覚広報委員会及び文化部協議会への活動支援
- ・金沢市各種団体事業への参画と支援